

SPARC Japan セミナー2019 特別編

「オープンアクセスの今とこれから～ステークホルダーの戦略とともに考える～」

開会挨拶

武田 英明

(国立情報学研究所 / 学術情報流通推進委員会委員長)



武田 英明

https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/takeda_hideaki/



国立情報学研究所主催フォーラム SPARC Japan セミナー2019 特別編「オープンアクセスの今とこれから」を開始させていただきます。

特別編の趣旨

オープンアクセスは、もう研究者や大学にとっては当たり前の言葉になっています。これは SPARC Japan の活動から見ると驚くべきことですが、今はオープンアクセスはもう当たり前になったので、すぐに大学や研究者が実践すべきことなのです。

ただ、国内では、誰がどうやっているのかがなかなか見えない状況がありました。それが今回のフォーラムを主催した趣旨です。国内では、JPCOAR、JUSTICE、JST、NII が、皆さんオープンアクセスに何らかの関わりを持っています。特にゴールドやグリーンという異なったアプローチでオープンアクセスを実現している各ステークホルダーの方に集まっていただき、一体皆さんが何をされているのか、どういうことをこれから考えていくのかをお伺いし、日本のオープンアクセスが今どこにいて、これからどこに向かうの

かを皆さんと一緒に考えたいというのが今回の趣旨です。

今、オープンアクセスの問題は止まっているのではなく、どんどん動いています。特にヨーロッパを中心に、Plan S の提案などでさらに前に行こうとしています。オープンアクセスの今の状況を確認し、さらに先のことも考えなければいけません。そのことを心に留めて皆さんの話を聞いていただければと思います。